

目次

平成27年第4回定例会【12月】

| | |
|---------|-----|
| 提出議案 | 2 |
| 条例議案の内容 | 2～3 |
| 補正予算 | 4～5 |
| 請願・陳情 | 5 |
| 一般質問 | 6～9 |

委員会報告(所管事務調査)… 10～11

| | |
|-----------|----|
| 総務文教常任委員会 | 10 |
| 産業厚生常任委員会 | 11 |

議会だよりギャラリー …… 12

しど

下郷町 議会だより

平成28年2月

第 **74** 号



“冬将軍”ようやく到来

例年になく雪がない冬を過ごしてきましたが、1月17日からの降雪で町内もようやく雪景色となり、子どもたちが元気に雪遊びする姿が見られるようになりました（写真は湯野上保育所）。

12月14日から18日にかけて、12月定例会が開かれました。条例の設定や一部改正のほか、一般会計及び特別会計の補正予算について審議し、全ての議案を可決しました。

12月定例会

提出された議案

【町提出議案】

▼ 下郷町個人番号の利用に関する条例の設定

▼ 下郷町税条例等の一部を改正する条例の一部改正

▼ 下郷町税特別措置条例の一部改正

▼ 下郷町携帯電話等エリア整備事業分担金徴収条例の設定

▼ 下郷町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

▼ 下郷町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の設定

▼ 一般会計補正予算

▼ 国民健康保険特別会計補正予算

▼ 後期高齢者医療特別会計補正予算

▼ 介護保険特別会計補正予算

▼ 簡易水道事業特別会計補正予算

【議員提出議案】

▼ 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める

意見書の提出

個人番号の利用に関する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に伴い、町では、法律で定められる事務（国民健康保険法、児童福祉法など）において、国が設置する情報提供ネットワークシステムにより個人番号等の特定個人情報の提供を受けることとなりますが、このほか、町が独自で行う事務（以下のとおり）においても、この条例に定めることにより、特定個人情報の提供を受けることができることとなります。

| 事 務 | 特定個人情報 |
|---------------------------------|-----------------------------|
| ひとり親家庭医療費の助成に関する事務であって規則で定めるもの | 地方税関係情報、住民票関係情報であって規則で定めるもの |
| 重度心身障害者医療費の給付に関する事務であって規則で定めるもの | |
| 子どもの医療費助成に関する事務であって規則で定めるもの | |
| 保育料の減免に関する事務であって規則で定めるもの | |

農業委員会の委員 公選制から市町村長の任命制に

農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員会の委員が、これまでの公選制から市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制となったことや、農地利用最適化推進委員を新設するなどの改革が行われました。これに伴い、町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例が原案どおり可決されました。

| 委員の区分 | 新たな定数 | これまでの定数の現状 | |
|-------------|-------|---------------|-----|
| 農業委員会の委員 | 11人 | 選挙による委員 | 16人 |
| | | 選任（団体推薦で町長任命） | 5人 |
| 農地利用最適化推進委員 | 16人 | — | |

◇この条例は平成28年4月1日から施行されます

◇国の改革内容①（農業委員会）

- ◆過半を原則として認定農業者とする
- ◆農業者以外の者で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を1人以上入れる
- ◆女性・青年も積極的に登用する
- ◆委員会を機動的に開催できるよう、定数を現行の半分程度とする

◇国の改革内容②

- ◆現場活動を積極的に行うため、農地利用最適化推進委員を設置

農 業 委 員

町長は、推薦・公募を実施

町長は、推薦・公募の情報を整理し公表

町長は、推薦・公募の結果を尊重し
選任議案を作成

町議会が同意

町長が任命

農地利用最適化推進委員

農業委員会は、農業委員会が定める
区域ごとに推薦・公募を実施

農業委員会は、推薦・公募の情報を整理し公表

農業委員会は、推薦・公募の結果を尊重

農業委員会が委嘱

平成27年度一般会計予算 2,085万4千円の追加補正

一般会計では、携帯電話等エリア整備事業や農業施設現年災害復旧事業のほか、これまでの事業精算に伴う調整などの補正予算が原案どおり可決されました。これで平成27年度一般会計予算総額は、47億6,389万7千円となりました。

平成27年度一般会計補正予算（12月補正）

◇歳入の主なもの

| 主な歳入項目 | 今回の補正額 | 補正前の予算額 | 補正後の予算額 |
|---------------------|------------|-----------|----------|
| 地方消費税交付金 | 20,061千円 | 45,531千円 | 65,592千円 |
| 福島県無線システム普及支援事業費補助金 | 32,957千円 | 0千円 | 32,957千円 |
| 畜産競争力強化対策整備事業補助金 | ▲ 9,516千円 | 60,205千円 | 50,689千円 |
| 農業施設現年災害復旧費補助金 | 11,700千円 | 0千円 | 11,700千円 |
| 社会資本整備総合交付金事業国庫補助金 | ▲ 25,200千円 | 42,000千円 | 16,800千円 |
| 防災安全交付金事業国庫補助金 | ▲ 24,180千円 | 102,400千円 | 78,220千円 |

◇歳出の主なもの

| 主な歳出項目 | 今回の補正額 | 補正前の予算額 | 補正後の予算額 |
|-----------------|------------|-----------|-----------|
| 携帯電話等エリア整備事業 | 49,436千円 | 0千円 | 49,436千円 |
| 下郷町畜産クラスター事業補助金 | ▲ 9,516千円 | 60,205千円 | 50,689千円 |
| 道路新設改良工事 | ▲ 77,420千円 | 196,500千円 | 119,080千円 |
| 農業施設現年災害復旧費 | 18,000千円 | 2,164千円 | 20,164千円 |
| 国民健康保険特別会計繰出金 | 9,154千円 | 150,443千円 | 159,597千円 |
| 予備費 | 62,287千円 | 85,510千円 | 147,797千円 |

平成27年度特別会計補正予算（12月補正）

| 特別会計の区分 | 今回の補正額 | 補正前の予算額 | 補正後の予算額 |
|-------------|----------|-------------|-------------|
| 国民健康保険特別会計 | 25,183千円 | 1,049,882千円 | 1,075,065千円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 852千円 | 70,502千円 | 71,354千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 939千円 | 226,498千円 | 227,437千円 |

※介護保険特別会計は、財源内訳の補正のみのため増減なし

補正予算の主な質疑

請願

◇歳出

老人福祉費 備品購入費

◆除雪機械等

2, 630千円の減

◆自動車等

1, 049千円の減

問 請負差額にしてはあまりにも減額幅が大きいと思われるがどのような理由なのか。

答

自動車等の減額については、当初予定からの除雪機械の運搬用として1.5tトラックと軽トラックとし、入札の結果、1, 275千円の請負差額となり、226千円を需用費へ流用した以外の1, 049千円を減額するものである。

除雪機械等については、当初3.3、4馬力のを1台、1.5馬力のを1台購入する予定だったが、実物をみたところ高齢者宅を除雪するに

は若干大きいということが判明したため、2.6、5馬力のを1台、9.3馬力のを1台と一回り小さくした

ものを購入したため、予算化していた5, 330千円を下回り、2, 630千円を減額するものである。



購入した1.5tトラックと軽トラック



9.3馬力と26.5馬力の除雪機械

◇歳入

寄付金

◆ふるさと応援寄付金

510千円の増

◇歳出

税務総務費 報償費

◆ふるさと納税者謝礼

22千円の増

問 何人の寄付者から、どれくらいの寄付金額が入ったのか。

また、他の町村から比較すると、下郷町の寄付者に対する御礼があまりにも低く、下郷町に寄付しても何のメリットもないという動きになって

しまうが、今後を考えていくべきではないか。

答

今回の補正510千円で合計610千円となるが、補正計上後に2件の追加があり、今年度は16件で650千円となっている。

今まで合計金額については平成20年度から始まっているが、57件で2, 810千円となっている。

御礼の品物については、1万円以上から5万円未満の寄付で3千円相当の特産品、5万円以上10万円未満の寄付で5千円相当の特産品、10万円以上の寄付については7千円相当の特産品というようになっている。

ただ、現在、行政改革の検討の中で協議が行われており、今後は他の町村の動向等を調査し、色々と改善していかないと感じている。

◆公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書の提出

▽請願者

福島県教職員組合南会津支部 支部長 古川 晃

▽審査結果〳〵採 択

(総務文教常任委員会付託)

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決した。

陳情

◆「所得税法第56条の廃止」を求める意見書採択に関する陳情

▽陳情者

下郷町大字大内字山本15 鈴木 澄雄 他2名

▽審査結果〳〵継続審査

(総務文教常任委員会付託)



ここを問う

星 輝夫議員の 一般質問

町政

質問

塔のへつりまでの町道の改修を

答弁

今年度に約40m区間を拡幅予定

整地すれば十分な駐車台数が確保できるがいかがか。

答

観光業を基幹産業とする本町にとって、観光

実施してきている。

駐車場から歩かせる件については、私有地関係者との調整・協議をしていく必要がある、検討していくこととする。

問

紅葉シーズンには、塔のへつりに観光客が大勢きているが、道路が狭いため、車道を歩く観光客の脇を大型観光バスが通るなど、危険な光景を目にした。

るといっても手段かと思うが町長の考えを伺う。

また、道の駅の駐車場は、観光シーズン中は狭く感じられ、農産物販売所裏の築山を

客の安全確保は重要と認識し、本路線の通行車両増加に伴う歩行スペース確保は、今年度は約40m区間の拡幅工事等を予定するなど、小規模ながら

道の駅もこう駐車場における築山部分の整地活用については、道の駅設置時に作られたものであり、やらない方がいいと考えている。

事故が起きてからでは取り返しがつかず、観光客に安全・安心な町であることをアピールするためにも、早急に町道の改修が必要である。車両進入は駐車場までとし、歩かせ

質問

自然環境を守るため
耕作放棄地の活用を

答弁

地域振興作物を奨励し
耕作放棄地防止策とする

質問

町道の道路占用料
免除の対象は

答弁

国や地方公共団体が行う事業や
水道管の給水引き込みなど

問

後継者がいない、高齢化したなどの理由により、耕作を放棄した農地が町内随所に見られるようになった。

答

耕作放棄地については、発生防止対策が肝要であり、町では地域振興作物として、そばやリンドウ、近年では高菜やエゴマ等を指定奨励し振興を図っている。



荒れて木が生い茂る農地

問 町道の道路占用料について、どのようなものが免除対象になるのか。

答

国や地方公共団体事業での占用、水道管の給水・テレビ共聴施設のケーブル引き込み等が対象となる。

政府では、耕作放棄地の固定資産税引き上げが検討されているとの報道もある中、町の豊かな自然環境を守るため

また、国の事業などを活用し、農家の方々の意見を賜りながら農用地の保全と活用、地域農業の推進を図っていき

たい。



町政

ここを問う

佐藤盛雄議員の 一般質問

質問

平成28年度予算編成に当たっての基本方針は

答弁

第5次下郷町振興計画を実現する
主要施策の着実な推進

問

平成28年度予算編成に当たり、基本方針について伺う。

①町長の予算編成における基本的理念は何か。

工業団地や物流基地を造るべきではないか。

答

①美し輝く笑顔あふれる交流のまち下郷を実現する主要施策の着実な推進などである。

- ②重点事業は何か。
- ③町長公約である工業団地造成の調査費は予算化するのか。
- ④湯野上地域振興計画を予算化するのか。
- ⑤会津縦貫南道路に隣接する

②公約の実現、国内外の経済状況や国・県の施策とともに的確に対応していくこと。
③地方創生有識者会議で工業

質問

会津下郷駅から保育所へ至る町道の拡幅を(特に県道からの進入路交差点付近の改良を)

答弁

土地買収が難しく、住宅が密集しているため困難だが、構想としては入れていく

質問

しもごう保育所隣接民有地買収計画のスケジュールは

答弁

12月15日に自宅を訪問し協力をお願いした。次年度に買収する計画である

質問

保育料の同時入所でない
単独第2子以降の無料化実施を

答弁

新たな子育て支援策や地方創生事業と一体となって取り組む

団地候補地を選定し、決定後に調査を考える。
④現在、基本構想を委託策定

の後に測量、地質調査等に係る予算計上を行う予定である。

中であり、ヒアリング後に、地元湯野上振興推進協議会からの意見を踏まえた上で基本的な構想を提示し、そ

⑤恵まれた立地条件を活かせる場所を的確かつ慎重に選定を進め整備計画を立てていく。

質問

1ターンのUターン者への奨励金制度及び住宅家賃の一部補助制度の創設を

答弁

年齢要件や金額、交付方法などをよく検討しながら対策を講ずる

質問

企業立地奨励制度を
他市町村より優位にすべきでは

答弁

企業の状況把握及び企業からの意見等を聞きながら対策を講ずる

質問

ティーエヌアイ工業撤退の
引き留めは行ったのか

答弁

会社経営本体に関わることであり、町として遺留しない

質問

姫川地区製材工場における
廃業後の跡地の新たな利用方法検討を

答弁

3月まで操業されるので、今後、姫川区も交え検討していく



町政

ここを問う

室井亜男議員の 一般質問

質問

町民プールを改修し
温水プールの設置を

答 町民プールの改修計画や維持コストなどを総合的に調査研究する

問

健康増進のためには、プールでの浮力を利用しての運動が最適であるとの医師の意見から、町内に年間を通して利用できる温水プールを希望する町民が多くおり、

第5次下郷町振興計画でも「高齢者などの利用に配慮した公共施設の整備・改善などを進め、高齢者にやさしい環境づくりに努めます」とされており、医療費や介護費の低減にもつながってくる。

・町民プールに屋根や囲いを設置した温水プールとする
・町民体育館の中に温水プールを設置する

といった公共施設の活用策などが考えられるが、この場合はどの程度の費用がかかり、また、補助金の有無の検討をお願いしたいが、町長の考えを伺う。

答

町民プールは建設後42年が経過し、経年劣化や老朽化から改修を迫られて

質問

一万人の盆踊りの復活を

答 関係団体や行政区長と協議するため時間をいただきたい

問

今から20年以上前、町で一万人の盆踊りと題し、町をあげての盆踊りが開催され、多くの町民が集い大変盛り上がりがあった。

近年、盆踊りを行わなくなつた集落もあり、そのせいもあつてか、お盆に帰省してこない方も増えてきている。幅広い年齢層の方々がお盆の帰省を楽しみにできるよう

おり、町民体育館は築40年が経過し、耐震診断で大地震時には倒壊する危険性が高いDランクとされている。また、高齢者の健康増進のための利用となると、スロープの設置なども考慮する必要がある、新築工事しかない。

矢吹町では25mの温水プー

にするためにも、町の一大祭りとして一万人の盆踊りを復活させてはどうか、町長の考えを伺う。

答

一万人の盆踊りを復活させた場合には、帰省する方々の楽しみが一つ増え、若者の再会の場を提供できることになると思われる。会津鉄道開業記念イベントと

ルを設置しており、工事費は4億3千万円で、補助金は受けていないようである。すべての町民の健康増進を図ることは重要と考えるが、町民プールの改修計画や温水プールとした場合の維持コストなど、総合的に調査研究することとしたい。



ふるさと祭りでの盆踊りの様子

して始めた一万人の盆踊りであったが、当時、集落での伝統行事がなくなつてしまつたの申し出があつたことなどから、関係する団体や行政区長と協議を重ねなければならぬので時間をいただきたい。



町政

ここを問う

議員の謙股猪の一般質問

質問

町観光協会と町観光公社を統合し、町観光行政の事務移管を

答弁

クリアすべき課題が多く、状況を見極め慎重に検討していく

問

町観光協会と町観光公社を統合し、行政事務

移管を可能にする団体とすることにより、行政事務の効率化が図られ、町の限られた財源と人材を他に振り分けられないのではないか。

答

商工観光係が行う観光協会の事務量は多く、

総会や理事会の場で事務移管や民営化の話題があがっていることは聞き及んでおり、理想とするところであるが、町補助金の依存割合が多く、人材と予算の確保、組織の問題など課題が多いことから、加盟団体や有識者の意見を賜りながら状況を見極め、慎重に検討していく。

質問

会津下郷駅の有人駅としての存続を

答弁

有人駅として存続を検討中である

質問

保育料の無料化見直しと家庭保育に対する助成を

答弁

少子化対策、子育て支援策として、財政面を考慮し検討していく。

問

保育所に係る保育料に

を、第一子が入所して無

答

ますます少子化が進んでいる状況であるため、保育料を含め少子化対策として検討していく。

また、3歳児ぐらいまでは親の下で愛情をたくさん受けて育つのが最良とされており、3歳児まで家庭で保育する保護者への助成を考えてはどうか。

質問

着地型ツーリズム事業の継続を

答弁

可能な限り継続支援していきたい

問

着地型ツーリズム事業の補助が本年度で終了

するが、風評被害対策や観光資源活用として一定の効果があったが、今後の事業の継続と展開をどうするのか。また、

答

地方創生に係る交付金等を活用して継続できないか。

事業の性格上、廃止することは、町内の観光産業に大きな影響を及ぼすものと認識しており、事業存続のために別の形で事業を継続できないか県と協議を進めているが、確実な財源確保の見



100万年ウォークの様子

通しができない。持続可能な着地型観光を推進するため、地方創生関連交付金の活用も考慮し、可能な限り継続して事業を支援していきたいと考えている。

総務
文教

楢原小学校の屋内体育館耐震補強工事や
小水力発電所など、所管の事務を調査

総務文教常任委員会では、10月26日、楢原小学校屋内体育館耐震補強工事の状況や、町内小学校の改修工事状況、下郷町地域振興対策事業として行われた弥五島区公民館改築事業など、所管する事務の調査を行いました。

◇江川小学校外壁改修工事

経年劣化により、外壁の一部を改修したとの説明を受けました。

◇大内宿保存修理事業

平成27年度、6件の保存修理事業の説明を受けました。

- ・土蔵外壁修理 1件
- ・茅屋根関係 3件
- ・母屋部分修理 2件

◇楢原小学校

・屋内体育館耐震補強工事

・3階廊下：ふれあいコーナー

・床改修工事

・プール改修工事

体育館は、耐震診断で震度6強の振動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が高い判定を受けており、平成26年度に実施設計を業務委託し、第三者機関である耐震改修設計評価委員会の検査を受け発注、工事中とのことで、2月末完了を目標に進めているとのことでありました。また、経年劣化により、3階廊下等の床やプールの内外

部について改修工事を実施したとの説明を受けました。



体育館耐震補強工事の説明を受ける

◇弥五島教員住宅雪止金具設置・フエンス撤去再設置工事

平成26年度に、屋根からの落雪で線路側フエンスが破損したため、破損部を撤去し新設。併せて落雪を防ぐため、教員住宅屋根に雪止金具を設置したとの説明を受けました。

◇下郷町地域振興対策事業

(弥五島行政区事業)

平成26年度に実施された弥五島区公民館建設事業の説明を受けました。

当事業は、老朽化による改築事業であり、弥五島行政区に対して補助金を交付し実施されました。

◇小水力発電所(三峰川電力小水力発電事業)

平成27年4月から運転が開始された花の郷水力発電所について、三峰川電力より説明を受けました。

大沢川の流水を利用し、年間発電量は1,010MWh、一般家庭約300戸分の電力を作り出し、発電に使用した水はそのまま川に戻り、CO₂の削減量は年間605tになるとのことでありました。

◇コミュニティセンター内トイレ改修工事

近年、一般住宅においてもトイレは洋式化が進んでおり、公共施設として、特に高齢者に優しい施設にすべく和式トイレを洋式トイレにするとの説明を受けました。

その他の調査箇所

◇ふれあいセンター研修室床再塗装修繕工事

◇南倉沢トンネル建設工事(県事業)

◇生活環境保全林等再生事業(県事業)



小水力発電所の説明を受ける

意見・提言等

○町民体育館では、冬期間にゲートボールなどが行われるが、体育館全体の暖房をすることは困難だが、少しでも暖を取るためにジェットヒーターを設置してもらいたい。

産業
厚生

高齢者等除雪支援事業や保育所運営状況
など、所管の事務を調査

産業厚生常任委員会では、11月6日、今年度から新たに始まる高齢者等除雪支援事業や、橋梁補修工事の現場、しもごう保育所運営状況、町商工会で実施した緊急雇用創出基金事業など、所管の事務について調査しました。



購入した除雪機の説明を受ける

◇防災安全交付金事業

(橋梁補修工事)

町道弥五島水門線の幾世橋補修工事の説明を受けました。橋長57.94m、幅員6mの橋梁で、下部工や鋼部材などの補修が行われたとのことでした。

◇高齢者等除雪支援事業

平成26年度まで実施していた除雪援助事業に代わる事業で、町が除雪機等を購入し、作業員を雇用して直営で実施する旨の説明を受けました。

◇しもごう保育所

・保育所運営状況

・保育所屋根等補修工事

定員120名に対して116名が入所している保育所の運営状況及び平成26年度の降雹被害による屋根等補修工事概要の説明を受けました。

◇道路標識設置工事

(町道南倉沢野際線)

町道南倉沢野際線等における道路標識設置工事(4基)の説明を受けました。

◇会津鉄道事業

・塔のへつり駅トイレ改修事業

会津鉄道に補助金を交付し、会津鉄道が実施主体となつて、既設の和式便器(2基)を撤去し、簡易水洗の洋式便器(1基)を新設。また、既設コインロッカーの移動、木製ベンチ1基の新設事業を行ったとの説明を受けました。

◇商工会事業

・緊急雇用創出基金事業

・下郷ふるさと祭り

・地域振興プレミアム商品券
発行事業

下郷町商工会より、町補助金における各種事業の説明を受けました。



商工会事業の説明を受ける

◇道の駅しもごう

・道の駅しもごう管理運営状況

下郷町地域振興株式会社との運営状況について、説明を受けました。

平成26年度は、前年度と比較して約1千万円の減収であったが、9月末現在、販売額で約6百万円の増になっている

とのことであります。

・駐車場整備計画進捗状況

道の駅しもごう駐車場整備計画にかかる進捗状況について説明を受けました。

その他の調査箇所

◇昭和電工湯野上発電所

◇防災無線操作卓改修工事

◇奥州駒返し坂階段整備事業

◇日暮滝階段整備事業

(県事業)

◇町道沼尾1号線

(通行止めの検討)

意見・提言等

○地域振興プレミアム商品券の購入限度額10万円は妥当なのか。もつと多くの人に行きわたるようにすることも考えるべきではないか。

○道の駅駐車場を増設した場合、トイレの増設も必要になり、その結果、水も必要になってくるのではないか。トイレ用の水としてポリーングをしてみてもどうか。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

下郷町議会だより

発行：福島県南会津郡下郷町議会
編集：議会広報常任委員会

〒969-5345 下郷町大字塩生字大石1000番地
E-mail: gikai_01@town.shinogo.fukushima.jp

TEL: 0241-69-1123
FAX: 0241-69-1167



1月13日(水)

小正月行事 団子さし (しもごう保育所)

「豊作祈願」、「一家繁栄」、「豊かな生活」の願いが込められているといわれがある『団子さし』がしもごう保育所で行われました。

団子の木に、園児ひとりひとりが色とりどりの団子をさし、願いを込めていました。

1月14日(木)

小正月行事 歳の神 (中妻地区)

『歳の神』が町内各地で行われました。

新しい一年の無病息災を祈る会津の小正月、伝統の火祭りですが、近年は、地区住民が参加しやすいよう、日曜日や休日などにずらして開催している地区もあるようです。



議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

| | |
|------|------|
| 委員長 | 猪股謙喜 |
| 副委員長 | 佐藤勤 |
| 委員 | 山田武夫 |
| 委員 | 星輝夫 |

(星輝夫)

の行事が成功することを期待しております。

そして、この冬町内各地の親睦を深めました。

秋口に地域住民が協力して刈り取ったカヤを御柱に仕上げ、勇壮な火祭りを楽しみ、スルメやモチを焼くなどして一年の無病息災を願う地域の配でした。

例年より積雪量も少なく、一月十日現在積雪ゼロというのは記録的に珍しく、伝統行事「歳の神」が出来るかが心配でした。

編集後記